

平成 28 年度 事業報告

1. 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
正・副理事長 打合せ会	28. 4.27	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度役員改選について ・平成 28 年度常設委員会委員候補者について ・理事会の運営について ・その他
監 事 会	同 上	同 上	監 事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度収支決算に関する事項
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度事業報告及び決算等について ・第 77 回定時総会提出議題について ・調査研究等事業引当資産取扱規程に基づく事業資産の取崩しについて ・平成 27 年度 JAS 優良工場決定について ・第 63 回優良従業員表彰被表彰者決定について
正・副理事長 打合せ会	28. 5.24	愛媛県松山市 「松山全日空ホテル」	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 18名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・第 77 回定時総会の運営について ・平成 28 年度委員会等委員の委嘱について ・日本ハム・ソーセージ工業 DC 企業型年金規約にかかる取扱規程について ・日本ハム・ソーセージ工業厚生年金基金の解散に伴う経過措置に関する規程について ・平成 29 年総会開催地について ・その他
第 77 回定時 総会	同 上	同 上	委任状とも 119名	<ul style="list-style-type: none"> ①平成 27 年度事業報告の件 ②平成 27 年度決算書等承認の件 ③平成 28 年度事業計画報告の件 ④平成 28 年度収支予算報告の件 ⑤入会基準決定の件 ⑥平成 28 年度加入金決定の件 ⑦平成 28 年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑨理事 18 名、監事 4 名任期満了につき改選の件

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
役付役員互選 理事会	同 上	同 上	理事 18名 監事 3名	・定款第 22 条に基づく役付役員の選出について
正・副理事長 打合せ会	28. 8.29	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 2名	・経理状況報告について ・その他
品 質 規 格 委 員 会	28. 9. 14	ハム・ソーセージ 会 館	委員 10名	・加工食品の原料原産地表示の拡大について ・その他
正・副理事長 打合せ会	28.10.26	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 3名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 3名	・経理状況報告について ・その他
正・副理事長 打合せ会	29. 1.24	東 京 都 港 区 「浜松町東京會館」	正・副理事長 3名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 3名	・経理状況報告について ・会員の加入及び脱退について
正・副理事長 打合せ会	29. 3.29	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 2名	・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 16名 監事 3名	・平成 29 年度予算の基本方針及び大綱について ・平成 29 年度収支予算について ・経理状況報告について

2. 庶務に関する事項

- (1) 平成 28 年 5 月 24 日、愛媛県松山市「松山全日空ホテル」において開催の第 77 回定時総会で任期満了に伴う役員改選が行われた。その結果次のとおり理事 18 名、監事 4 名が選出された。

理 事: 飯 沼 英 郎(再任)、猪 口 由 美(新任)、岩 崎 充 利(再任)、
 沖 谷 明 紘(再任)、帯 谷 伸 一(再任)、金 井 俊 男(再任)、
 菊 地 令(再任)、清 田 種 嗣(再任)、小 森 嘉 之(再任)、
 塩 島 勉(再任)、末 澤 壽 一(再任)、竹 田 清(再任)、
 南 波 利 昭(再任)、菱 沼 毅(再任)、松 井 鉄 也(再任)、
 松 井 陽 樹(再任)、村 井 功 誠(再任)、森 田 邦 雄(再任)

監 事: 梅 木 勉(再任)、小 田 木 毅(再任)、比 嘉 昌 治(新任)、
 増 井 隆 夫(再任)

第 77 回定時総会に引き続き開催の役付役員互選理事会で役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長 1 名、副理事長 3 名、専務理事 1 名、常務理事 2 名、代表監事 1 名が選任された。

理事長：末澤 壽一(再任)
 副理事長：小森 嘉之(再任)、竹田 清(再任)、松井 鉄也(再任)
 専務理事：塩島 勉(再任)
 常務理事：飯沼 英郎(再任)、清田 種嗣(再任)
 代表監事：梅木 勉(再任)

(2) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 127 条第 3 項の規定に基づき、平成 28 年 6 月 9 日付けで平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書等を内閣総理大臣に提出した。

3. 会員に関する事項(平成 29 年 3 月 31 日現在)

期 別	会 員 数
前 期 末 現 在	144 名(正会員甲 142 名、正会員乙 0 名、特別会員 2 名)
新 加 入 者	2 名(正会員甲 2 名)
脱 退 者	5 名(正会員甲 5 名)
今 期 末 現 在	141 名(正会員甲 139 名、正会員乙 0 名、特別会員 2 名)

(注 1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの
 正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの
 特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

4. 事業の概要

(1) 安全性の確保に関する事業

ア. 総合衛生管理製造過程に関する講習会の開催

会員の HACCP システムについての理解を深めその推進を図るため、「総合衛生管理製造過程に係る講習会」を前年度に引き続き開催した。

期 日	会 場	受講者数
28.6.13～15 28.6.29～7.1	東京都渋谷区「石山記念ホール」	66 名
29.2.28～3.3	東京都渋谷区「石山記念ホール」	43 名

イ. 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法(HACCP手法支援法)に係る指定認定機関の業務について

HACCP手法支援法では、食品製造工場がHACCPシステムを導入し、製造過程の

管理の高度化を円滑に図る際の施設設備の整備、又は HACCP システム導入に向けた前段階での施設設備の整備を支援する。当協会は同法に基づく食肉製品の指定認定機関としての業務を行っているが、平成 28 年度は高度化計画及び高度化基盤整備計画の申請はなかった。

ウ. 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

エ. 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ新しく正しい情報の提供に努めた。

オ. 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

ア. 初級食肉加工技術講習会の開催

食肉及び食肉加工品に対する理解を深めるため、その種類や製造方法、原料肉の基礎知識、食肉の科学並びに衛生管理に関する講義及び製造実習を 5 日間に亘り実施した。

期 日	会 場	講 師	受講者数
29.1.23~27	日本大学生物資源科学部湘南校舎	岡山高秀氏他	41 名

イ. 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

ウ. 品質等管理優良事例の表彰

JAS 認定製造業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上位 10 工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、総会席上において表彰状及び記念品を贈呈した。

エ. 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、日本ハム・ソーセージ工業協同組合（以下「ハム組合」という。）及びハム・ソーセージ類公正取引協議会（以下「公取協」という。）が行う次の事業の実施に協力した。

ア. 記事広告の制作及び雑誌への掲載

- ① 生活情報誌「オレンジページ」に、カラー2ページ（見開き）のイメージ広告を制作、平成28年12月に掲載した。

広告の内容	発売日
情報知識：世界三大生ハムについて	平成28年12月2
レシピ：ハムソベを使った世界のパーティー料理	日

イ. 冊子の作成及び配布

見開きA4サイズカラー16ページの冊子「ハムソベおやこ kitchen（親子編）」と「ハムソベおとな kitchen（健康編）」を各4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

ウ. 催事への協賛・協力

食肉加工業界の発展に資するため、次の催事に協賛・協力した。

- ① 平成28年4月13日から15日までの3日間東京ビッグサイトにおいて開催された「2016食肉産業展」に協賛・出展した。
- ② 平成28年6月7日から10日までの4日間東京ビッグサイトにおいて開催された(一社)日本食品機械工業会主催の「2016国際食品工業展(FOOMA JAPAN 2016)」に協賛・協力した。
- ③ 平成28年10月8日から9日まで開催された(公財)日本食肉流通センター主催の「第35回ちくさんフードフェア2016」に協賛・協力した。
- ④ 平成29年3月1日から3日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第9回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛・協力した。

エ. 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した「日本食肉加工情報」を毎月1回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(4) 経営の改善等に関する事業

ア. ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

平成28年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、ハム組合、食肉科研及び公取協と連携して実技試験の実施に協力した。平成29年2月5日に学科試験、2月11日、12日に実技試験が行われた結果、1級42名、2級45名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ. 食品衛生管理の国際標準化（HACCP制度化）への対応について

厚生労働省では、「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会最終とりまとめ」を踏まえ、HACCPによる衛生管理の制度化について検討が進められている。当協会は、平成28年11月15日付で、ハム組合と連名で「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会中間とりまとめ」に係る意見・要望を行い、最終とりまとめへの反映に努めた。

ウ. 加工食品の原料原産地表示拡大への対応について

平成 28 年 11 月に「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会」において、全ての加工食品に原料原産地を表示するとした中間とりまとめが行われ、平成 29 年 3 月 27 日付で「食品表示基準の一部を改正する内閣府令（案）」が公表され、意見募集が開始された。当協会はハム組合と連名で、原産地表示義務化に対する状況の実態等について調査を行うとともに、十分な経過措置期間の確保や実行可能性の内容について意見・要望を行うよう会員に要請した。

エ. 環境自主行動計画について

2030 年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る平成 28 年度（平成 27 年度実績）フォローアップ調査を実施し、その調査結果を平成 28 年 10 月 31 日に農林水産省へ報告するとともにハム組合のホームページに掲載した。

オ. 食肉等の輸入動向について

食肉の輸入動向等について「食肉に関する情報交換会」を開催し（合計 12 回）、情報・意見交換を行った。

(5) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に係る法令（食品表示法、JAS 法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に関係資料を送付、周知を図った。

(6) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績等良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、ハム組合と合同して、30 年以上の勤続者に表彰状及び記念品、20 年以上の勤続者に表彰状を贈呈した。

被表彰者	30 年以上勤続者	四国物産株式会社	大塚 正明氏	他全 69 名
	20 年以上勤続者	株式会社中西ハム	石川美登里氏	他全 25 名

(7) その他

ア. 平成 29 年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

イ. 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、ハム組合と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 4 件